

# 第 1 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和元年 6 月 20 日（木） 午後 2 時 45 分～午後 3 時 50 分
会 場	北地区コミュニティセンター 和室 2
出席委員	五十嵐部会長、澤副部会長、本間（藤）委員、阿部（勝）委員、山賀委員、工藤委員、小池委員、鶴巻委員、村山委員
欠席委員	神田（征）委員、本間啓幸さん（菅原委員代理）
事務局 関係課	区民生活課（高桑課長、長谷川主幹）、北出張所（川崎所長） 地域総務課（中川補佐、小林主査、佐藤）
会 議 要 旨	<p><b>1 令和元年度自治協議会提案事業「北区みんなで見守り隊」について</b></p> <p>事務局より、同事業の原案（たたき台）について説明を行いました。 →今回の協議内容を事務局で集約したうえで、次回部会で改めて意見交換することになりました。 →事務局と工藤委員が、事前にすり合わせを行うことを確認しました。</p> <p>[主な意見等]</p> <p>①意見交換会の開催について</p> <p>(全 般)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区内の見守り団体は、個々の活動は積極的に行われているものの、団体どうしの情報交換やコミュニケーションがまだ途上にある。本事業により団体間で交流できるようになる契機となってほしい。</li> </ul> <p>(団体構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業は、“横のつながり”ができることを意識した事業と思う。一方で、標題の見守り団体が広範囲に及ぶため、ある程度対象を絞ることも検討し得るのではないか。</li> <li>・ 見守り活動の対象は多岐に渡る。子どもの登下校や認知症高齢者のひとり歩き（徘徊）等、団体によって対象が全く異なることを踏まえると、事業内で一定の方向性を見出すことができなくなるのでは。</li> <li>・ 「見守り活動」をより広い観点から位置づけるのであれば、見守りの対象によって団体構成を限定する必要はないと思う。</li> <li>・ 区全体における、より広義の「地域全体の見守り」気運が高まることを期待したい。</li> <li>・ 意見交換会では、既存の団体や見守り対象にとらわれず、意欲的な個人や企業等も出席できるようにしてはどうか。</li> </ul> <p>(内 容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基調講演は、地域全体の支え合いや安心安全など、より大きなテーマを話すことのできる講師に依頼できればよいと思う。</li> <li>・ 見守り対象を限定せずに団体に参加してもらうのであれば、分科会も設けて、さらに深い交流をできるようにしてはどうか。</li> </ul>

## ②グッズの作成・配付について

- ・ 一過性のものにならないようにしてほしい。(グッズ作成が目的にならないようにしてほしい)
- ・ 既に各団体が独自にグッズを作成、使用している。それぞれの「ながら活動」で使える腕章、たすき、車用ステッカーといった分かりやすいものかどうか。

## 2 北区生活交通改善プランについて

事務局より、新プランの策定にあたる地域公共交通検討会議について、概要説明を行いました。また同会議に参画する自治協委員（2名）を選出しました。

→下表のとおり、選出及び承認されました。

→このほか概要説明に関する意見等なし。

氏名	役職
五十嵐 隆吉 委員	地域づくり部会 部会長
澤 玲子 委員	地域づくり部会 副部会長

以上

## 第 1 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	令和元年6月20日（木） 午後3時～午後4時
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室1
出席委員	清水博恭、梅津玲子、樺山サト子、小林春香、相馬裕和、平松賢一、藤沢直子、 7人
欠席委員	神田恭之、中嶋涼子、佐久間沙都美 3人
事務局	川崎課長（健康福祉課）、拝野館長（豊栄地区公民館）、佐藤所長（北区教育支援センター）、高野・深沢（地域総務課）
会議要旨	<p>○「大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業」について 事業チラシをもとに健康福祉課長が説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在介護している人とこれから必要な人とでは温度差がある。対象があいまいだと学生が臨機応変に対応できないのでは。</li> <li>・小林春香委員が要請あれば講師として参加予定。</li> <li>・チラシを分かりやすく作ってほしい。セミナーだけでなく悩み相談なども受け付ければ学生の勉強になるのでは。</li> </ul> <p>→次回までに検討し、案を提示する。</p> <p>○「すべてのママ・パパ応援プロジェクト」について 事業提案者である梅津委員から内容について説明。 豊栄地区公民館長からゆりかご学級時における保健師のかかわりなどについて説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布方法について「母子健康手帳交付時」に保健師による説明とあるが、現状でも配布物が多く、説明事項も大変多い。厳しいのではないか。</li> <li>・対象について祖父母も入れてはどうか。</li> <li>・今はスマホの時代なのでアプリの紹介などではどうか。</li> <li>・大半の親は子育てできている。要支援家庭はほんの一握りだと思うがどうやって対象を把握していくのか。</li> </ul> <p>→健康福祉課で母子手帳交付時などあらゆる機会を通して把握に努めている。支援が必要な親子には産褥期だけでなく長いスパンでかかわっている。ただ、それでも虐待事案は派生するのが現状。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のお便りでも読まない・読めない親が増えている。文字が多いものはまず目を通さない。ステッカーなどでもよいのでは。</li> </ul> <p>→事務局でスケジュールとたたき台を作成する。今回出た意見を踏まえ、伝えたいことを各委員考えていただき次回以降具体的に検討していく。</p>

## 第 1 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和元年 6 月 20 日（木曜） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 2
出 席 委 員	阿部(美)部会長、本間(久)副部会長、赤間委員、松田委員、黒川委員 原委員、皆川委員、本田委員
欠 席 委 員	渡邊委員
事 務 局 関 係 課	建設課長、産業振興課（嶋倉課長補佐、村山係長）、地域総務課（本田課 長補佐、高田）
会 議 要 旨	<p><b>1 「子どもと音楽の出会い創出事業」について</b></p> <p>6 月 13 日(木)に北区文化会館にて行われた、大谷康子氏(ヴァイオリン奏者)、田代館長(北区文化会館)、区内小学校教諭、自然文化部会長及び副部会長による打ち合わせ内容を下記のとおり報告しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施日：9 月 11 日（水）午前・午後 2 回に分けて実施</li> <li>・ 区内の小学 6 年生を対象に、親しみのある音楽を聴かせる。</li> <li>・ 学校⇄会場は、自治協予算で手配するバスで送迎する。</li> </ul> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 席に空きがあるのであれば、地域の方等にも聴いてもらうのはどうか。</li> <li>・ 子どもに音楽を聴いてもらうのが目的の事業であるため、子どもが主体というイメージを作った方がよいと思う。</li> </ul> <p><b>2 「潤いの福島潟創出事業」について</b></p> <p>7 月 17 日(水)に行われる「潟ツーリズム推進事業第 1 回研修会(※)」の参加案内を行いました。</p> <p>(※)ラムサール条約湿地及び環境省選定ラムサール条約湿地潜在候補地を観光資源としての有効活用を図り、交流人口の拡大に向けた潟ツーリズム推進事業についての情報提供を行うもの</p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修会にはぜひ参加したい。</li> <li>・ せっかくの機会なので自然文化部会委員だけでなく、全自治協委員に参加を呼びかけてはどうか。</li> <li>・ 今年から新しく当部会に参加している部員もいるため、福島潟を視察したい。研修会の同日に福島潟を視察してはどうか。 →福島潟視察 7 月 17 日（水）13：00～実施</li> <li>・ 17 日は福島潟のみを視察し、秋頃に区内の他の潟を視察するのはどうか。</li> </ul>